新年賀詞交歓会

２０１６年1月１９日（火）

ホテルテラスザガーデン水戸にて開催されました

新春記念講演

これからの働き方
～「ワークライフミックス」が切り拓く新しい働き方～
講師　光畑　由佳氏
(有)モーハウス　代表取締役

倉敷市出身、つくば市在住。電車の中での次女の授乳をやむなく行った経験を機に授乳服の制作を開始。女性を解放したいとの思いを活かし子連れで出勤するという「子連れスタイル」で子育てと社会を結びつけ、多様な生き方や育て方、働き方を提案する。２０１４年北京で開催された「ＡＰＥＣ女性と経済フォーラム」では日本代表の一人としてスピーカーを務めるなど、精力的な活動を行なっている。

３児の母でもありながら、多数の講演、ＮＰＯ等の代表もつとめ多忙を極める光畑氏だが女性ならではの柔らかな語り口でしなやかな人柄を感じさせる。レジリエンス（柔軟性）を大事にし、「山登り」で１つの目標を必死に叶えるのではなく、「川下り」で自然な流れに身を任せながらむしろどう進むかを楽しみながら実現させてきた。社長としてのトップダウンの指示・決断も大事だが、スタッフやお客様の意見を大事にしチャレンジし続けることで次につながり、いつかは海に出られる。舟のオールをこぎ続けることをやめないことが大事と。

始めから起業を考えていたわけではなかった。いつも始まりは偶然からだった。自分の授乳の経験から作った授乳服は苦しい子育てに悩んでいるお母さんに外に出てもらうきっかけにしてもらいたいと始めた。授乳ショーを行ってもいつ授乳していたのか気づかれないくらい周りから見えない授乳服。お母さんも、赤ちゃんも快適、周りにも気を使わせないフェアな関係を築くことができる。売れないと反対された授乳ブラジャーも乳がん手術を経験した女性に喜んでもらえた。

少子高齢化により労働力不足の問題が現実となる日本、限られた時間の中でも仕事に集中して結果を出すことが出来るお母さんの力がもったいない。働き方をもっと柔軟に広げたい。お母さんの働く姿をみて育つ子供はお母さんにあこがれる。自分も商店の子どもだったから女性が働く姿は当然だった。
出産・子育ては多様なライフスタイルのほんの一部。長時間は働けないけれど働きたいひとはたくさんいる。介護、高齢、障害、疾病とどのような状況でも活かせる多様な働き方、活動の仕方に派生できるのではないか。ワークライフバランスを超えたワークライフミックスを提案している。

月に一度は同友会に参加しよう！参加したら必ず何かを持ち帰ろう！

日立支部１月特別セミナー

経営者のための

発声・話し方講座

講師：根本　倭圭さん
フリーアナウンサー・MC
日立支部会員

２０１６年1月１５日（金）　うのしまヴィラにて開催されました

新年会を開催致しました。年末ご挨拶やフリーアナウンサーの根本倭圭さんによる新年会・交流会・仲間の結束を益々深めるセミナー＆懇親会でした。
日立支部の年末年始の内容を分かりやすく解説いただき、ポイントを絞った話し方講座の中で、「会員同士の切磋琢磨の場」、「経営者の表現力・発声・話し方・方法・体験を通じて、ゆっくりと会話を楽しみながら、「同友会の仲間の輪を広げ、貸切ヴィラ」を発立ちのみ合った会場でのセミナー講座でした。
（レポート：滑川　裕さん）

県央海浜支部プチ例会

昨年１０月のプチ例会が行われました。県央海浜支部では１月２６日、プチ例会議論が「同友会のキライ！」という奇抜なテーマに対し議論が交わされたこの１月ここがプチ例会ではい「同友会ここがスキ！」という例会愛」に満ちあふれた例会となりました。前回同様、真剣に考えて法人内容やJKを掘り下げました。